



# 東京グリーン

〒135-0016  
東京都江東区東陽 2-2-20  
東京 YMCA 東陽町センター内

Chartered 1973



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2026.05 >

BULLETIN

2025年7月～2026年6月

会 長 樋口 順英  
副 会 長 青木 方枝  
書 記 村杉 一榮  
会 計 小仁 恵子  
監 査 柿沼 敬喜  
担当主事 熊沢 佳代

国際会長 エドワード・オン  
アジア太平洋地域会長 田上 正  
東日本区理事 山下 真  
関東東部部長 鈴木 雅博  
クラブ会長 樋口 順英

「信念、愛、行動」  
「信念と愛を持って行動しよう！」  
「ワイズのらしさ再発見」  
「(変革)若者から発信」  
「若々しく、心安まるクラブライフ」

## 5月 ペンテコステ(5月24日)

私は、あなたがたに平和を残し、私の平安を与える。私は、これを世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな、怯えるな。

ヨハネによる福音書14章27節

## 2026年5月例会

日時: **2026年5月20日(水)**17:30~19:50

場所:東陽町センター

司会: 樋口 順英メン、 受付: 青木 方枝メン

開会点鐘 樋口 会 長

ワイズソング、ワイズの信条唱和 全 員

ゲスト、ビジター紹介 樋口 会 長

聖句・お祈り・食事 西澤 紘一メン

卓話: 「なぜ76歳になってもラテンダンス競技会に挑戦しつづけるか」

卓話者: 宮地 正人 氏 (ラテンダンスの達人)

ニコニコひとこと 全員

ハッピーバースデー 青木方枝、小仁恵子

目黒 卓各メン

各種報告 樋口 会長 ほか

YMCA 報告 熊沢 担当主事

閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:16名 4月出席率9/13 69%

出席:3月 (メン9名、メネット0名) 計9名

【ニコニコ】 ¥15,500

2026年5月例会 卓話のご案内

「なぜ76歳になっても、ラテンダンス競技会に挑戦しつづけるか」

卓話者: 宮地 正人 様

- このたび、東京グリーンクラブは、ラテンダンスの達人、宮地 正人さんに卓話をいただきます。
- 宮地さんは、仕事の赴任先フィリピンで 2004年、54才から社交ダンスを始めました。
- 19年後、2023年5月、73才のとき社交ダンス競技会の最高峰、英国ブラックプール・ダンスフェスティバルにフィリピン代表として出場しました。
- その結果ラテン部門(51~65歳のプロアマ部門)で計14個の金メダルを獲得しました。
- 現在もひたむきに競技会に挑戦しつづけています。
- 世界の頂上をめざす心がまえなどをお伺いし、高齢者が元気が出るような話をして頂きます。



(樋口 記)

## ◆2026年4月例会報告

日 時：2026年4月18日(水) 17:30～19:40

場 所：東京 YMCA 東陽町センター

出席者：青木、柿沼、熊沢、小仁、佐野、西澤、目黒、村杉、  
樋口各メン

ビジター：講師 仲山 淳子 様(にほんご学院講師)  
(東京 YMCA) 柳原 みずき 様(「YMCA 保育園ねがい」)  
(江東クラブ) 鈴木 雅博、藤井 寛敏、小松 重雄、  
山崎 常久、草分 俊一各メン  
(たんぽぽ)小原 史奈子メン、(甲府21)山本 俊一メン  
(その他) 森下 千恵子 様

### ▲ 概要

- ① 関東東部部長公式訪問ということで、江東クラブをはじめ大勢で19名の賑やかな例会となりました。
- ② 食事のあと、新担当主事熊沢メンによるご挨拶と、鈴木関東東部部長【写真右】のご挨拶により盛り上がり、ニコニコスピーチでは、普段聴けない話に興味深々。
- ③ 仲山 淳子様による卓話は昨年5月に続き今回2回目。前回は「やさしい日本語」がテーマでしたが、今回は「日本語のむずかしさ」がテーマです。上手な語り口で、はるか昔の文法の授業を思い出しました。



### ▲ 卓話のあらまし

卓 題：「再発見！日本語ってどんな言語？」

卓話者：仲山淳子 様(にほんご学院講師)【写真下】



#### ① ねらい：

日本人が無意識に使っている日本語の、文法、語彙、表記の面白さ、複雑さ、豊かさを発見するとともに、日本語学習の難しさを知り、学習者への理解を深める。

#### ② 日本語のふしぎの例(クイズを交えながら)

- 形容詞になれる品詞となれない品詞がある

・「三角」「丸」「四角」のなかで、「丸い」「四角い」と形容詞にできるが、「三角い」とは言えない。

- 形容詞とナ形容詞(形容動詞)がある
  - ・形容詞：「美しい」「かわいい」「かっこいい」
  - ・「ナ形容詞」(形容動詞)：「きれいな」
- 形容詞には感情形容詞と属性形容詞がある
  - ・属性形容詞：「やさしい」「おもしろい」「かしこい」
  - ・感情形容詞(感情を表す形容詞)：「かなしい」
- 動詞の活用の仕方：一段活用、五段活用
  - ・五段活用：「乗る」「入る」「帰る」
  - ・一段活用：「着る」は「着て」となる
- 漢字の読み方がいろいろ
  - ・音読み、訓読み、重箱読み、湯桶読み
- 外来語が多い：「いくら」はロシア語由来。

#### ③ 日本語の起源と歴史

- 起源：ウラル・アルタイ語族(北方)とオーストロネシア語族(南方)のハイブリッド説が有力。中国語が起源ではない。(文法が全く異なるため)
- 文字の歴史：万葉仮名から、漢字を崩した「ひらがな」(女文字)と、漢字の一部を取った「カタカナ」(男文字)が生まれた。

#### ④ 日本語は語彙が多く外国人は苦勞する(日常4万語)

- 複数の敬語表現(尊敬語、謙譲語、丁寧語)
- オノマトペ(擬音語・擬態語)が非常に多い
- 語種の混在：和語(手紙)、漢語(書簡)、外来語(レター)のように、同じ意味でもニュアンスの違う言葉が3種類存在する
- 助数詞が多い。「一匹」「一頭」「一冊」など、
- 外来語を日本の文化に変えていくのが得意である。
- 和製英語：ベビーカー、ホッチキス、レントゲン

#### ⑤ 日本語はあいまいか？

日本語は「分かっていることは言わない」省エネ言語であり、主語がなくても文脈で判断できる明確なルールがあるため、決して曖昧ではない。

#### ⑥ 日本語教育のむずかしさ

- 日本語は、漢字、ひらがな、カタカナ、数字、アルファベットが混在し、語彙も豊富なため、日本語は学習が非常に困難な言語である。学習者への理解と応援が必要である。
- 日本語学校では、まず基礎的で丁寧な日本語を教え、上級になるにつれて友人との会話で使う若者言葉なども含めて教えていく方針である。

(村杉 記)

## ▲ ニコニコひとこと

- ◆青木方枝メン：大勢参加いただき嬉しいです。5月に大台に乗ります。ワイズに居てよかった。カーブスで体力づくり中。
- ◆村杉一榮メン：月曜日は編み物、水曜日はウォーキングで。
- ◆小原史奈子メン（たんぽぽ）：(4/16)3クラブ合同例会あり。
- ◆目黒卓メン：神田川船の会で頑張っている。
- ◆佐野守メン：西クラブ50周年例会には、OBなので参加する。
- ◆山本俊一メン（甲府21）：松戸在住。子供野外活動の援助。
- ◆西澤紘一メン：江戸博リニューアルオープンは楽しかった。
- ◆柿沼敬喜メン：東日本区大会（石巻）には孫夫婦も参加。
- ◆山崎常久メン（江東ク）：ラグビー依然現役。
- ◆草分俊一メン（江東ク）：4月から江東センターに転勤。
- ◆小松重雄メン（江東ク）：藤井さんに勝てるのは孫の数。
- ◆藤井寛敏メン（江東ク）：今までみんなに助けられて役職を全うしたので、これから自分にできることで支援したい。
- ◆鈴木雅博メン（江東ク）：獅子舞いが得意だ。
- ◆熊沢佳代メン：東日本区大会に参加します。

（村杉 記）

## ▲今後の例会予定

- ① 6月例会：この1年の反省会を行う予定です。
- ② 7月キックオフ例会：7月15日(水)  
卓話；中期計画「TOKYO YMCA VISION150」  
卓話者：熊沢佳代メン  
なお、7月8日(水)第二例会は中止いたします。

## ▲ ハッピーバースデー：今月はなし

（樋口 記）

## ◆今後の主なスケジュール

- 1) 5月 7日(木) 神田川船の会直前例会(和泉橋)
- 2) 5月 9日(土) 第93回神田川船の会(予備：6/13)
- 3) 5月13日(水) 5月第二例会(Zoom) 15:00～
- 4) 5月14日(木) 西クラブ創立50周年記念例会(荻窪)  
(樋口、佐野メン出席)
- 5) 5月20日(水) 5月第一例会(東陽町) 17:30～
- 6) 5月23日(土) 在京ワイズ会長会(山手) 10:00～
- 7) 5月30日(土) 第2回関東東部評議会および  
次期役員研修会(東陽町) 13:00～
- 8) 6月 4日(木) 田園調布学園 船上授業(浅草橋)
- 9) 6月 6日(土) 第29回東日本区大会(石巻市)  
(青木、柿沼、熊沢、小仁、村杉、樋口各メン出席)
- 10) 6月10日(水) 6月第二例会(Zoom) 15:00～
- 11) 6月13日(土) 第93回神田川船の会(予備日)
- 12) 6月17日(水) 6月第一例会(東陽町) 17:30～

（樋口 記）

## ◆「京都パレスクラブ55周年記念例会」報告



【写真上】DBCの紹介、熱海クさんとともに壇上に。

日時：2026年4月18日(土) 16:00～20:30

場所：ホテルオークラ京都

当クラブ出席者：樋口、青木、村杉、小仁、柿沼各メン  
(出席者総数は約400名)

主題：Thanka! Y's Men「ありがとう、ワイズメン」

- ① 5年前始まった「ラオスプロジェクト」の成果報告と、これから先、さらに前をめざす気力がテーマに表れて、筋肉のみなぎったすばらしい例会でした。
- ② 第1部 副題：With This Step「この一歩から」  
肅々と進む式典では、クラブメンバーの団結力のすばらしさに感銘を受けました。
- ③ 第2部 副題：Pay it forward「恩送りをしよう」  
懇親会では、出席者に対するこまかい気配りに深謝申し上げます。
- ④ 「IBC・DBC 前夜祭」(前日4月17日開催)では、マニラダウンタウン、熱海クさんと久々の交流ができ、楽しい時を過ごさせていただきました。



【写真上】京都パレスさん重鎮とともに。

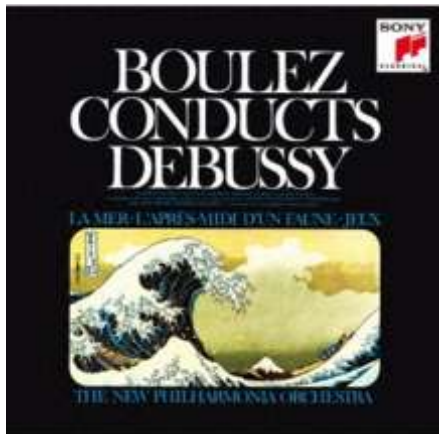


【写真上】マニラダウンタウンさんとともに。

- ⑤ 企画・準備をしてくださった京都パレスクラブの皆様、心からの感謝とお疲れ様の気持ちをお伝えしたいと思います。本当にいい勉強になりました。

（樋口 記）

ドビュッシーに、冷えたビールが似合うか、  
交響詩「海」



クロード・ドビュッシー作曲(1862～1918)

交響詩「海」作品 325(1905)

指揮:ピエール・ブーレーズ(1925～2016)

ニュー・フィルハーモニア管弦楽団(1966年録音)

初夏にちなみ、ドビュッシーの代表作交響詩「海」です。モデルになった海は、ジャージー島、ノルマンディーの海岸ディエップ、あるいは地中海のサンギネール諸島だともいわれています。いずれも日本よりも涼しそうですね。

彼は、クラシカルなメロディー、リズム、和音、形式などに囚われず、独特の手法で海を幻想的に表現しました。それは、海を具体的に「描写」したわけではなく、時間の経過とともに色や形を変える海の景色を、海の「印象」として、様々な楽器の音と音符の組合せで表現したのです。

曲は3部から成り、各々に標題がありますが、ぜひご自身の海のイメージで楽しんでください。

第1部:海の夜明けから真昼まで

第2部:波の戯れ

第3部:風と海の対話

彼の手法はのちに幅広い音楽分野に影響を与えます。ジャズ界では、マイルスやエヴァンスらは、ドビュッシーとシェーンベルクからの影響が大きいと言われています。

推奨CD、とかく輪郭がポーっとしている曲なのですが、フランスの巨匠ブーレーズ壮年期の録音は、すっきりしたのどごしで聴きやすい。楽器の音色ひとつひとつが生き生きしていて、まるで波しぶきがきらきら輝いているようです。

ジャケットは葛飾北斎『富嶽三十六景』『神奈川沖浪裏(かながわおきなみうら)』です。ドビュッシーはこの絵からもヒントを得たといわれますがどうも本当のような気がします。

(樋口 記)

- 4月1日、「職員就業礼拝」をオンラインで開催し、職員約100名が出席。古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会／公益財団法人東京YMCA評議員会会長)に「ピッチの上だけではなく」と題して説教をいただいた。礼拝に続く「全体職員会」では、星野総主事と各事業部統括から挨拶と新年度運営方針の説明があり、新入職員代表者からも抱負が語られた。また、カンボジアウォーターセーフティープログラムの報告があった。
- 各学校の入学式が下記の通り行われた。
  - ・社会体育・保育専門学校(4月2日)・新入生45名
  - ・国際ホテル専門学校(4月3日)・新入生75名
  - ・にほんご学院(4月6日)・新入生54名
  - ・医療福祉専門学校(4月7日)・新入生55名
- 2026年度より、新たに高校生を対象としたボランティア「ジュニアリーダー」の募集を開始した。月に一度開催している「定例野外グループ」の引率を大学生や社会人のユースリーダーと共に担当し、年間を通じて子どもたちのサポートやプログラムの進行を担う。
- 5月12日より、夏季キャンプ・スクール受付を順次開始する。水泳、英語、リトミック、キャンプなどの各種プログラムを準備している。今回もフレンドシップファンドを活用し、経済的に困難なご家庭には所得に応じて参加費を援助する。
- 今後の主な行事予定
  - ・「早天祈祷会」5月7日(山手センター／オンライン)  
奨励:星野太郎総主事
  - ・「第23回会員大会」5月23日(山手センター／オンライン)
  - ・「第21回世界YMCA大会」7月19日～7月25日(トロント)
- 深 悼 謹んで哀悼の意を表します。
  - ・山田 利三郎氏(名誉会員・元東京 YMCA 監事)  
3月19日召天 享年98
- 感謝
  - ・一般財団法人日本宝くじ協会より、テント1張をご寄贈いただいた。

(クラブ担当主事 熊沢)